

活動報告書

団体名	特定非営利活動法人クレヨン・リンク
事業名	障がい者福祉事業所のネットワーク型スキルアップ連続研修
事業実績の概要 (月日、参加者数等)	8月23日「ハラスメント防止」 12名(事業所クラスター5名減) 11月22日「支援者自身のメンタルケアと関わりのコツ」 36名 12月6日「いざというときに活かせるBCPづくりとは」 23名 1月24日「自他を傷つけない介助」 21名 2月7日『差別』と『合理的配慮』を知ろう 14名
事業の効果	福祉事業所として必須の研修はもとより、利用者様との関わりや従業員・スタッフの問題意識に合った研修を、経験豊富な講師を招いて行ったことにより、障がい当事者に寄り添った支援につながり、また、安全で健康に働き続ける職場環境を推し進める一助となった。
参加者からの声	「納得する事が多くありすごく助かりました。」「BCPとは何かがわかりやすい説明で良かったです。実際おこった時の対処について今後の自分にとっても行動に気を付けようという気持ちになりました。」「ベースの判断基準と、その場での臨機応変な対応指示を日頃から共有しておくことが必要かな。」「人に対する言い方や聞き方、考え方で、仕事のやり方がもっとうまく広がる事がわかりました。」「人を動かすのがすごく難しく、いつも色々悩んでいたのが少し解決した気がしました。」「とても丁寧に具体例をたくさん出しながら話をしてくださって参考になりました。」「何でも否定をせずに意識してほしいことを相手に伝えるという事が大事と学びました。」「僕自身も、知識、考え、行動を、現在のものにアップデートしていかないといけないと思いました。」「管理者としての自分の言動をみつめなおす機会になりました。」
今後の課題点、改善点等	新しい事業所が参加し始めた半面、これまでの事業所が来なくなり、また、感染症まん延により当日キャンセルなどで参加人数が伸び悩んだ。 ワークを行ったり、受講者(事業所)相互の交流のためには2時間では足りない。

今後の展望	くり返し同じ講座を受講することにつき、押さえなおしや深化、新たな発見のために大切なことであるとして、同じ事業所が毎年受講していただけるよう説得していく。 メール以外にも個別直接参加を呼びかける。
事業の自立に向けた計画	補助金無しで継続していくためには、受講者の増加（100 名）を見込まないといけない。 参加費の引き上げや、謝金の引き下げも検討することが、現実問題として必要である。